

(広報発表)

令和 5 年 3 月 20 日
京都市産業観光局
担当 : 観光 MICE 推進室
電話 : 075-746-2255

令和 4 年「京都観光に関する市民意識調査」の結果について

京都市では、持続可能な観光の実現に向けて、市民生活と観光の調和や、観光による地域への貢献等により市民の皆様の満足度や豊かさの向上につなげるため、令和 3 年から「京都観光に関する市民意識調査」を実施し、京都観光に関する市民の皆様の御意見やニーズの把握に努めています。

この度、下記のとおり令和 4 年「京都観光に関する市民意識調査」を実施し、当該調査の結果を取りまとめましたので、お知らせします。

記

1 調査の概要

(1) 調査目的

市民の皆様の京都観光に関する意識や京都市の観光政策・施策の認知度等を把握し、「京都観光振興計画 2025」(令和 3 年 3 月策定) の指標及び目標値として同計画の進捗管理を行うとともに、今後の観光施策を立案するための基礎資料として活用する。

(2) 調査の方法等

ア 調査対象

京都市内在住の満 18 歳以上の市民 5,500 人 (無作為抽出)

イ 調査方法

郵送による配布、郵送または WEB フォームによる回収

ウ 調査期間

令和 4 年 10 月 25 日～令和 4 年 11 月 21 日

エ 有効回答数

2,286 件 (回答率 41.6 %)

(3) 調査結果

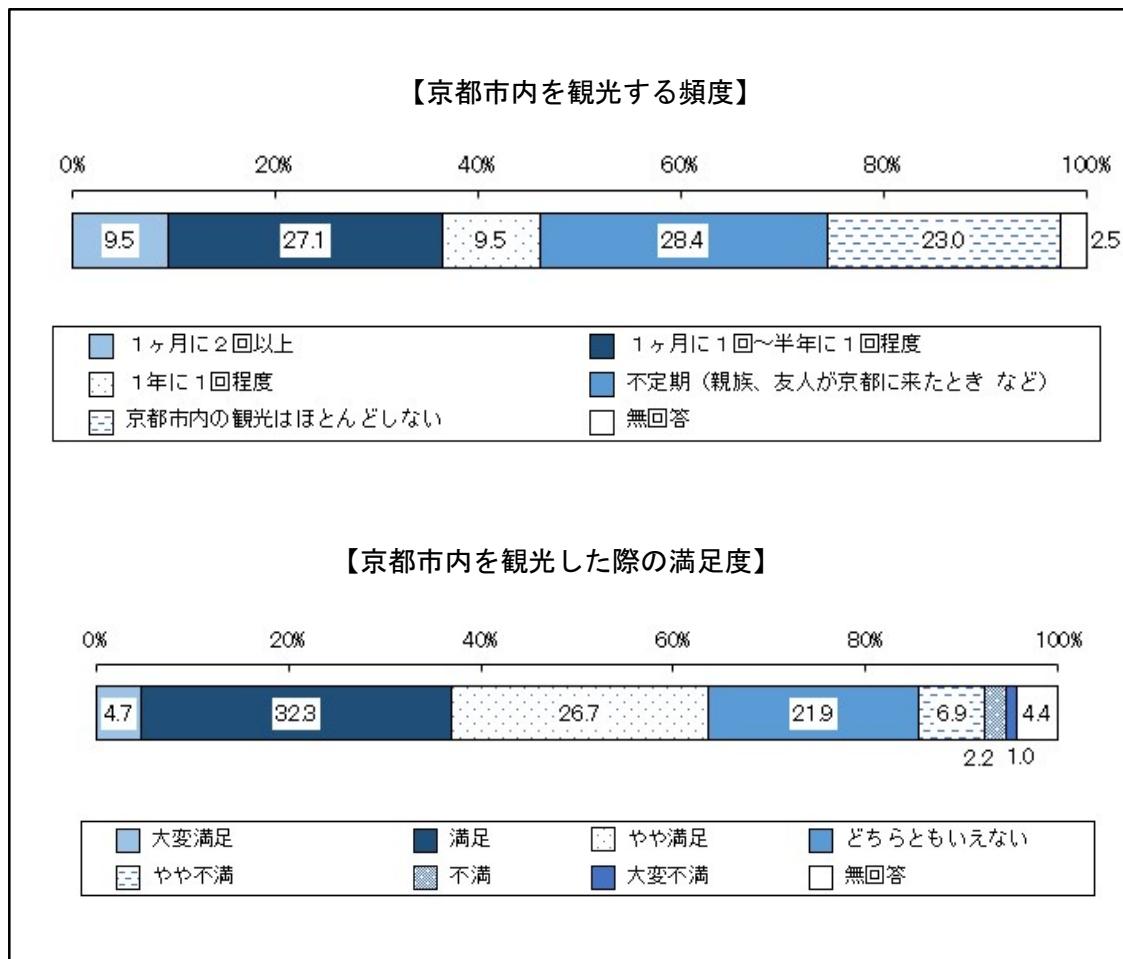
京都市公式ホームページ (京都市情報館) にて公開。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000309845.html>

2 主な調査結果のポイント

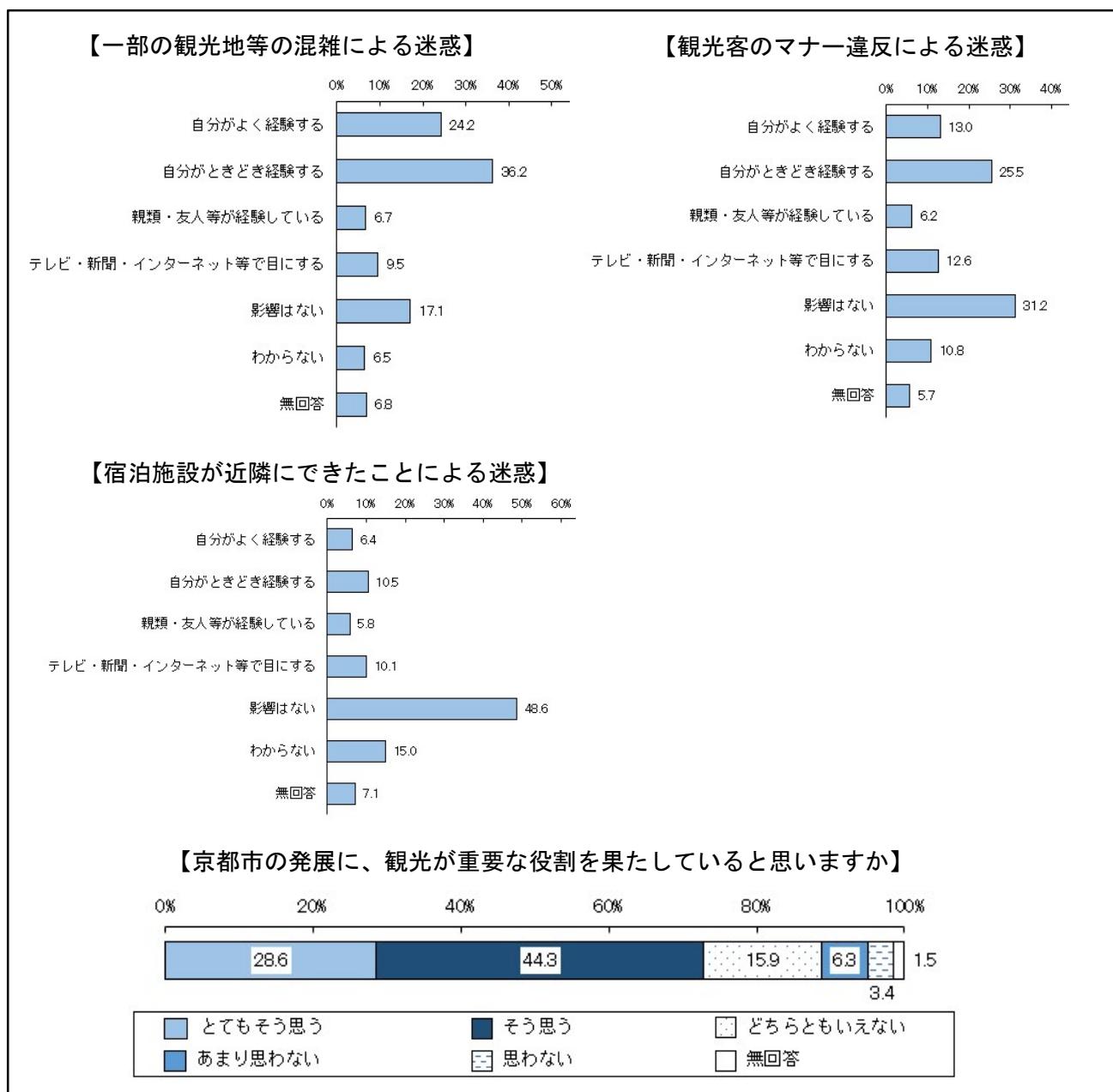
(1) 市内観光に対する意識について（問5、6）

- 市内を観光する頻度については、1年に1回以上と回答した方の割合が46.1%である一方、ほとんど観光をしない方は23.0%となった。
- 実際に市内を観光し、満足をした方の割合は63.7%、不満を感じた方は10.1%との結果となった。



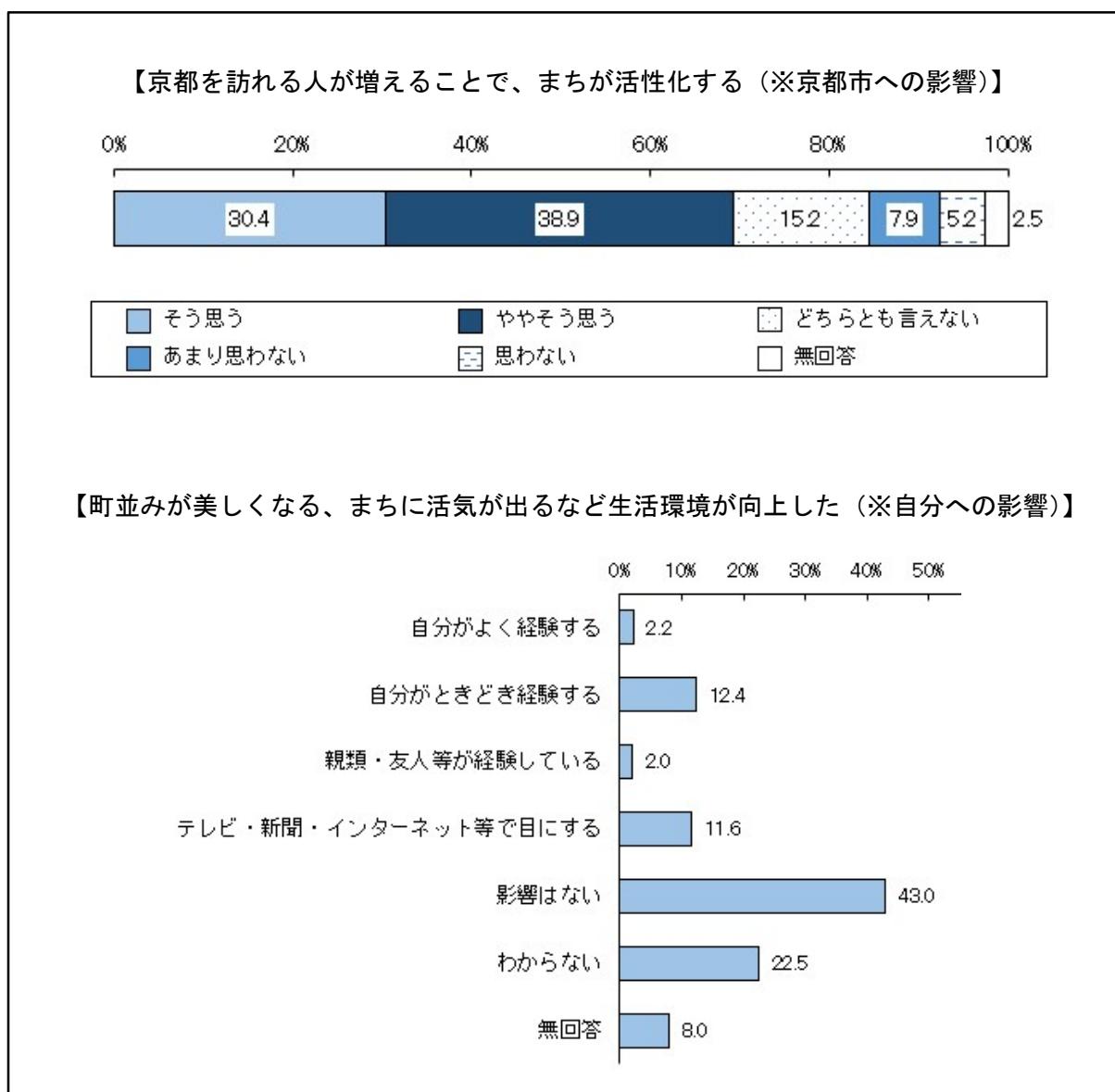
(2) 京都観光が市民にもたらす影響等について（問10、14）

- 一部観光地やその周辺の混雑を経験し迷惑したと回答した方は60.4%、観光客のマナー違反を経験し迷惑したと回答した方は38.5%、宿泊施設が近隣にできたことに伴う良くない影響を経験し迷惑したと回答した方は16.9%となった。
- 他方、「京都市の発展に、観光が重要な役割を果たしている」と回答した方が72.9%と高い数値となっている。



(3) 観光の効果の実感について（問10、11）

- 69.3%の方が京都を訪れる人が増えることによってまちが活性化すると思うと回答した一方で、観光によって町並みが美しくなる・まちに活気が出るかという質問に対し、43.0%の方が自分には直接影響はないとの結果となった。



(4) 京都観光への推奨度について（問15、19）

- 68.9%の方が、近しい人に京都観光をおすすめしたいと回答したほか、京都市が観光で評価されることに対しては、67.4%の方が誇りに感じると回答しており、いずれも約7割が肯定的な回答となった。

